

ロンドン、2019年4月2日

英国のタタ・スチール・ポートタルボット製鉄所向け高炉改修工事が完工、稼働を開始

- 大型投資により、第5高炉の耐用年数を延長
- 英国最大の製鉄所としての地位強化
- 改修工事は2018年末の短期操業停止期間中に実施

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、英国・南ウェールズにあるタタ・スチール・ヨーロッパ社 (Tata Steel Europe : タタ・スチール) のポートタルボット製鉄所向け第5高炉改修工事を完工し、同基は稼働を開始しました。この大型投資プロジェクトは、第5高炉の耐用年数を延長して、英国最大の製鉄所としての地位を強化する目的で実施され、2018年末の短期操業停止期間中に、設計、計画、機器と資材の供給、解体・組立工事の全てを完了しました。主要な工事は、鉄皮リングおよび鉄皮内側の冷却設備の交換、炉床部の炭素耐火物の一部交換、排ガス分離機の交換、鉄皮の改造、ならびに炉全体のライニングの補修でした。

タタ・スチールは、オランダと英国に製鉄所を保有し、欧州各地に製造工場を展開するヨーロッパの大手鉄鋼メーカーで、建設およびインフラ、自動車、缶製造、エンジニアリング業界など、最も需要の高い市場向けに高品質な鉄鋼製品を供給しています。現在2基の高炉が稼働するポートタルボット製鉄所では、スラブ、熱延コイル、冷延コイル、および溶融亜鉛めっきコイルを生産しており、第5高炉は、今回の改修まで15年間にわたり約3000万トンの鉄を生産してきました。

タタ・スチールと当社、ならびに両社のサブ・コントラクターは、相互協力のもと日々の業務を安全かつ確実に遂行しました。当社はサイト管理に加え、交換する箇所の設計とそれらの応力解析、クレーンの応力計算、施工計画およびエンジニアリング、仮設工事計画、また英国のCDM (建設の設計および管理) 規則の順守に必要な全業務にも携わりました。

当社はポートタルボット製鉄所と長年にわたり良好な協力関係を築いており、2018年には、熱間圧延機の生産能力を増強するために、トランスファー冷却システムも納入しました。



プライメタルズテクノロジーズが改修工事を行い、稼働を開始した、英国・南ウェールズにあるタタ・スチール・ポートタルボット製鉄所の第5高炉。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下のURLよりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューション

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumljija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2019041788jp

をお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジー社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com